

2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2021年2月9日

上場会社名 株式会社 福岡中央銀行

上場取引所

無

福

コード番号 8540 URL https://www.fukuokachuo-bank.co.jp/

(役職名) 取締役頭取 代表者

(氏名) 古村 至朗

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総合企画部長

(氏名) 岡野 みゆき

TEL 092-751-4429

四半期報告書提出予定日

2021年2月12日

特定取引勘定設置の有無

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 四半期決算説明会開催の有無 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純	利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	6,888	1.7	681	3.6	590	25.2
2020年3月期第3四半期	7,010	6.1	657	28.0	471	16.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円銭
2021年3月期第3四半期	208.51	156.56
2020年3月期第3四半期	174.07	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	634,843	30,322	4.7
2020年3月期	516,793	29,122	5.6

(参考)自己資本

2021年3月期第3四半期 30,322百万円

2020年3月期 29,122百万円

(注)「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部合計で除して算出しております。 なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2 配当の状況

2. HU = W1/////						
	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円銭	円銭	円銭	円銭	円 銭	
2020年3月期		25.00		25.00	50.00	
2021年3月期		25.00				
2021年3月期(予想)				25.00	50.00	

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年 3月期の業績予想(2020年 4月 1日~2021年 3月31日)

						()	%表示は、対前期増減率)
	経常リ	又益	経常和	削益	当期純	利益	1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	8,800	7.0	250	57.0	300	44.8	91.40

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無 以外の会計方針の変更 : 無 会計上の見積りの変更 : 無 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む) 2021年3月期3Q 2,737,160 株 2020年3月期 2,737,160 株 2021年3月期3Q 29,593 株 2020年3月期 29,418 株 期中平均株式数(四半期累計) 2021年3月期3Q 2,707,636 株 2020年3月期3Q 2,708,094 株

(注)期末自己株式数には、役員報酬BIP信託が保有する当行株式18千株が含まれております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、 実際の業績等は様々な要因により大き〈異なる可能性があります。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計	
(第1回A種優先株式)	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	
2020年 3月期	_	_	_	10.55	10.55	
2021年 3月期	_	87.50	_			
2021年 3月期(予想)				87.50	175.00	

⁽注) 第1回A種優先株式は2020年3月10日に発行しましたので、2020年3月期の配当金は、2020年3月31日を基準日とする1株につき10.55円であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)経営成績に関する説明	2
(2)財政状態に関する説明	2
(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1)四半期貸借対照表	3
(2)四半期損益計算書	4
(3)四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(追加情報)	5
(重要な後発事象)	5
※ 2021年3月期 第3四半期決算説明資料	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当第3四半期の経営成績につきましては、経常収益は、有価証券利息配当金やその他の役務収益の減少等を 主因に前年同期比1億22百万円減少し68億88百万円となりました。

一方、経常費用は、不良債権処理額の減少等を主因に前年同期比1億46百万円減少し62億7百万円となりました。

その結果、経常利益は前年同期比24百万円増加の6億81百万円となり、四半期純利益につきましても、前年同期比1億19百万円増加の5億90百万円となりました。

(2)財政状態に関する説明

(資産、負債および純資産の状況)

当第3四半期末における財政状態につきましては、総資産は、前事業年度末比1,180億50百万円増加して6,348億43百万円となり、負債は、前事業年度末比1,168億49百万円増加して6,045億20百万円となりました。また、純資産につきましては、前事業年度末比12億円増加して303億22百万円となりました。

(主要勘定の状況)

主要勘定残高につきましては、預金及び譲渡性預金は、前事業年度末比928億64百万円増加して5,546億44百万円となりました。貸出金につきましては、前事業年度末比408億39百万円増加して4,283億19百万円となりました。また、有価証券につきましては、前事業年度末比151億96百万円増加して925億29百万円となりました。

(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期の業績予想につきましては、2020年5月27日に公表しました数値から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

		(単位:百万円)
	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
現金預け金	32, 496	95, 785
有価証券	77, 333	92, 529
貸出金	387, 480	428, 319
外国為替	1, 240	860
その他資産	4, 990	4, 867
有形固定資産	13, 816	13, 612
無形固定資産	665	543
前払年金費用	1,915	1,844
繰延税金資産	691	161
支払承諾見返	180	286
貸倒引当金	△4, 017	$\triangle 3,968$
資産の部合計	516, 793	634, 843
負債の部		
預金	459, 950	551, 961
譲渡性預金	1,830	2, 682
債券貸借取引受入担保金	20, 420	_
借用金	_	46, 100
その他負債	3, 282	1, 497
役員株式給付引当金	12	27
睡眠預金払戻損失引当金	115	95
再評価に係る繰延税金負債	1,878	1,868
支払承諾	180	286
負債の部合計	487, 671	604, 520
純資産の部		
資本金	4, 000	4,000
資本剰余金	2, 703	2, 703
利益剰余金	17, 854	18, 301
自己株式	△127	△128
株主資本合計	24, 430	24, 876
その他有価証券評価差額金	438	1, 213
土地再評価差額金	4, 253	4, 231
評価・換算差額等合計	4, 692	5, 445
純資産の部合計	29, 122	30, 322
負債及び純資産の部合計	516, 793	634, 843

(2) 四半期損益計算書 第3四半期累計期間

		(単位:百万円)
	前第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
経常収益	7, 010	6, 888
資金運用収益	5, 913	5, 873
(うち貸出金利息)	5, 035	5, 113
(うち有価証券利息配当金)	861	722
役務取引等収益	773	706
その他業務収益	1	1
その他経常収益	321	307
経常費用	6, 353	6, 207
資金調達費用	172	136
(うち預金利息)	171	135
役務取引等費用	695	648
営業経費	4, 940	5, 050
その他経常費用	544	371
経常利益	657	681
特別利益	<u> </u>	198
固定資産処分益		198
特別損失	0	0
固定資産処分損	0	0
税引前四半期純利益	656	879
法人税、住民税及び事業税	12	109
法人税等調整額	172	179
法人税等合計	184	288
四半期純利益	471	590

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する貸倒引当金の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の拡大による取引先の経営状況及び経済環境全体に及ぼされる影響を考慮し、当第3四半期において取引先の財務情報等に未だ反映されていない信用リスクに対する影響額を見積り、貸倒実績率に必要な修正を行うことにより、追加的な貸倒引当金を209百万円計上しております。

感染症の広がり方や収束時期等に関しては、参考となる前例や統一的な見解がないため、徐々に経済が回復する等の一定の仮定を置いたうえで、過去実績や予め定めている償却・引当基準に則り、経営意思決定機関の承認等に基づき、最善の見積りを行っております。

なお、当該仮定についての不確実性は高く、新型コロナウイルス感染症の拡大による取引先の経営状況及び経済環境への影響が変化した場合には、2021年3月期財務諸表以降において、貸倒引当金は増減する可能性があります。

(重要な後発事象)

当行は2021年1月20日開催の経営会議において、効率的な店舗運営と人員等の経営資源を集約することにより営業力を強化し、お客さまにご満足いただける金融サービスを提供することを目的として、久留米合川支店、原支店および門司支店を店舗内店舗方式で近隣店に移転することを決議しました。

この決議に伴う会計処理については「固定資産の減損に係る会計基準」(企業会計審議会)を適用し2021年3月 期第4四半期会計期間において、固定資産の減損として、特別損失を約170百万円計上する見込みです。

なお、損失額は現時点での見込みであり変動する可能性があります。

2021年3月期 第3四半期決算説明資料

(1) 損益の概況

(単位:百万円)

				(単位:日刀円)
:		2021年3月期		2020年3月期
	2021年3月期 の予想値(注1)	第3四半期	前年同期比	第3四半期
		(9ヵ月間)		(9ヵ月間)
経常収益	[8,800]	6,888	\triangle 122	7,010
業務粗利益		5,796	\triangle 25	5,821
資金利益		5,736	\triangle 5	5,741
役務取引等利益		58	△ 20	78
その他業務利益		1	0	1
経費(除く臨時処理分)		4,933	△ 71	5,004
人件費		2,708	△ 58	2,766
物件費		1,894	△ 18	1,912
税金		330	5	325
実質業務純益(注2)		863	47	816
コア業務純益(注3)	【660】	863	47	816
コア業務純益(除く投資信託解約損益)		856	105	751
一般貸倒引当金繰入額		_	168	△ 168
業務純益		863	△ 122	985
うち国債等債券損益		_		_
臨時損益		△ 181	147	△ 328
うち不良債権処理額 ②		72	△ 344	416
うち株式等損益		△ 28	△ 39	11
うち貸倒引当金戻入益 ③		49	49	_
与信関係費用(① + ② - ③)	【425】	23	△ 224	247
経常利益	【250】	681	24	657
特別損益		197	198	△ 0
税引前四半期純利益		879	223	656
法人税、住民税及び事業税		109	97	12
法人税等調整額		179	7	172
法人税等合計		288	104	184
四半期純利益	【 300】	590	119	471

⁽注)1.2021年3月期の予想値は、2020年5月27日に公表したものであります。

^{2.} 実質業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額

^{3.} コア業務純益 = 実質業務純益 - 国債等債券損益

(2) 金融再生法開示債権

金融再生法ベースの開示債権額は、前年同期比22億68百万円減少し、124億16百万円となりました。また、総与信額に対する開示債権の比率は1.06ポイント低下し、2.89%となりました。

(単位:百万円、%)(参考)(単位:百万円、%)

·	-	
	2020年12月末	2019年12月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	5,467	7,151
危険債権	5,620	5,265
要管理債権	1,328	2,267
開示債権額(A)	12,416	14,684
正常債権(B)	416,404	356,710
総与信額(C)=(A)+(B)	428,820	371,394
不良債権比率(A)/(C)	2.89	3.95
不良債権比率(A)/(C)	2.89	3.9

77(十四:日2917)	'/
2020年9月末	
5,83	34
5,64	4
1,74	2
13,22	21
411,11	4
424,33	86
3.1	1

(3) 時価のある有価証券の評価差額

その他有価証券の評価差額は、前年同期比8億82百万円減少し、17億24百万円の評価益となりました。

(単位:百万円)

百万円) (参考) (単位:百万円)

	2020年12月末			2019年12	月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額		
			うち益	うち損			うち益	うち損
その他有価証券	91,401	1,724	2,839	1,115	75,912	2,606	3,447	841
株式	6,825	1,591	2,012	421	6,916	1,289	1,747	457
債券	63,891	588	631	43	54,361	1,111	1,127	15
その他	20,684	△ 455	195	650	14,635	205	573	367

(参考)(集		4位:白	力円)
2020年9月末			
時価	評価差額		
		うち益	うち損
78,514	1,293	2,627	1,334
6,454	1,311	1,765	453
54,592	707	743	36
17,467	△ 726	118	844
もいかについては			

- (注) 1. その他有価証券の株式等については(四半)期末月1ヵ月平均の市場価格等に、それ以外については (四半)期末日の市場価格等に基づいて算出しております。
 - 2. 満期保有目的の債券及び子会社・関連会社株式は、該当ありません。

⁽注) 当行は部分直接償却は実施しておりません。

(4) 預金・貸出金残高

総預金残高(譲渡性預金を含む)は、前年同期比699億49百万円増加し、5,546億44百万円となりました。 貸出金残高は、前年同期比574億7百万円増加し、4,283億19百万円となりました。

① 預金(末残)

(単位:百万円)

(参考)	(単位:百万円)
20	020年9月末
	556,574
	553,944
	344,983
	2,629

		2020年12月末	2019年12月末	
総預金		554,644	484,69	
	預金	551,961	483,048	
	うち個人預金	342,568	335,541	
	譲渡性預金	2,682	1,646	

② 貸出金(末残)

(単位:百万円、%)

(参考)	(単位:百万円、%)
2	2020年9月末
	423,878
	389,743
	91.94
	65,673
	15.49

		2020年12月末	2019年12月末
貸出金		428,319	370,912
	うち中小企業等貸出残高	393,399	•
	中小企業等貸出比率	91.84	92.39
	うち個人ローン残高	65,533	•
	個人ローン比率	15.30	18.40

(5) 預かり資産残高

預かり資産残高は、前年同期比8億86百万円減少し、424億61百万円となりました。

(単位:百万円)

		2020年12月末	2019年12月末
予	質かり資産残高	42,461	43,347
	投資信託	13,603	13,942
	公共債	771	870
	個人年金保険等	28,086	28,534

(参考) (単位:百万円)

2020年9月末
41,524
12,726
856
27,940

以 上